



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



託された「今」がある

校長 中島 豊

天沼小は本年度、めでたく五周年を迎え、様々な記念行事も実施されています。その発足の平成20年度、本校がイギリス・ダラム市の小学校と行った国際交流が、ブリティッシュカウンシル主催の全国アワードで金賞を受け、代表児童とともにロンドンを訪れたことがあります。当時、オリンピックスタジアムは工事の真最中でした。

そこで展開された17日間の夏の祭典。日本選手の大活躍に睡眠不足となられた方も多かったのではないのでしょうか?特に女子のアーチェリーや卓球、バレーボール、男子のフェンシング、水泳の男女メドレーリレー等、チームゲームでは予想外の朗報が相次ぎました。

中でもサッカーは、日本だけが男女ともベスト4に残るといふ快挙でした。女子の「なでしこジャパン」は昨年のワールドカップ以降、世界のサッカーを牽引しているといっても過言ではないでしょう。日本サッカーの暗闇の時代を経験した私も年配の輩にとっては、隔世の感があります。

しかし、実は、今日のこの状況はまぐれでも、ラッキーでもないのです。「なでしこ」のワールドカップ優勝を含めて、これは意図的・計画的に日本サッカーの整備が進められた成果だと、日本サッカー協会の田嶋幸三専務理事はいいます。

東京五輪でベスト8、メキシコでは見事に銅メダルを獲得した日本サッカーでしたが、それは、釜本選手や杉山選手といったスーパースターに依存した体制の結果でしかなかった。つまり、ジュニアやユース等の育成システムが確立されていなかったために、その後、ワールドカップはもとより、オリンピックのアジア予選にさえ勝ち上がれないという時代が続いてしまったのだと。

その轍を踏まないように、今では少年野球以上となった少年層の拡大に加えて、Jリーグ100年構想による地域スポーツの振興、指導者の育成が図られて、トップチームを支え、常に新陳代謝を繰り返すことのできる組織と機能が各地域に誕生したのです。

女子ばかりが目立つようですが、1993年のJリーグスタート以降、男子もワールドカップベスト16、アジア

カップやアジア大会の優勝といった華々しい成果を上げているのです。

振り返ってみると、学校教育もまったく同じです。その内容は学習指導要領に基づいて意図的・計画的に生まれ、各学校や地域の教育課題に応じて特色ある教育活動を推進しています。今年度、校内研究としても取り組んでいる「心と体の健康づくり」についても同様で、就学前から中学卒業迄を見据えて、各々の発達段階を踏まえた実践を行っています。東京都全体の課題である「体力向上」はもちろんですが、今、小学校期に託されているのは、「**運動に親しむ資質や能力の育成**」です。そのためには、運動好きで、進んで体を動かすことが感じることのできる児童を育てることが何より大切と考えます。この夏、そのための実技を含めた研修会に本校からも多くの教員が参加して、来学期からの指導の工夫・充実を目指しています。

こうした「今」に託された底辺をベースとして、代表選手が誕生しているのです。

♪たくさん「今」がある／歩むべき道がある

(いきものがかり・NHKオリンピック放送テーマソングから)

韓国に敗れ、惜しくも銅メダルを逃がしたサッカー男子チームのDF吉田選手は、「この借りはA代表で必ず返す」と語っていました。ワールドカップ最終予選も佳境に入る秋の陣、見逃せない試合が増えそうです。

文科省の体力・運動能力、生活習慣等調査によれば、「家族でスポーツのTVや試合を観たり、話題に取り上げたりしている子どもは、体力テストのデータが高くなっている」との報告があります。ご家庭でも親子共通の関心事としてみてはいかがでしょうか?

今夏、たまたまマルペンサ空港で乗り合わせたインテルの長友選手。ペネズエラ戦のため帰国することでしたが、ファンとの記念写真に気軽に応じるその姿勢は好印象で、「頑張ってる」の声援に頷く様子がとても頼もしく感じられました。天沼の子どもたちも、かく大きく育て欲しいものです。

◆◆◆ 今月の目標 ◆◆◆

生活

暑さに負けず
規則正しい生活をしましょう

保健

からだの調子を整えましょう

給食

よい食事の習慣を
身につけましょう



9月の行事予定



日	曜	行事予定
1	土	
2	日	あまぬまFESTIVAL
3	月	始業式 命の教育月間(始) 安全指導 給食始
4	火	
5	水	フォローアップ
6	木	保護者会(456) 小児習慣予防検診説明会(4)
7	金	保護者会(123こ) 水泳指導終 演劇鑑賞教室(4) CAP(3)
8	土	天中チャリティーマーケット
9	日	はっぴいプロジェクト
10	月	全校朝会 委員会活動
11	火	天沼中学校クラブ体験(6) ウェイクアップタイム
12	水	たてわり遊び フォローアップ 避難訓練
13	木	天沼FP 陸上教室(56) 1~4 校時
14	金	ウェイクアップタイム
15	土	お泊まりキャンプ
16	日	↓
17	月	敬老の日
18	火	ウェイクアップタイム
19	水	4時間授業 (5-1 研究授業)
20	木	児童集会
21	金	ウェイクアップタイム
22	土	
23	日	
24	月	健康朝会 運動会係活動①
25	火	全校練習I
26	水	フォローアップ
27	木	音楽集会
28	金	全校練習II
29	土	
30	日	

夏休み 自由研究作品展

9月5日(水)~12日(水)

夏休みの間に取り組んだ自由研究作品を、教室内・オープンスペース等に展示しています。子どもたちの力作を是非ご覧ください。

学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介します

今月の予定から(土曜日学校ハッピーさたでい)

《はっぴいプロジェクト2012 コンサート》 9月9日(日)午後1時~

視覚障害のある女の子が演奏会をおこないます。

たくさんのお客様と一緒に楽しい時間になりたいと思います。ご家族の皆様も、ぜひお出かけください。



《あまぬまおやじの会 presents お泊まりキャンプ》 9月15日(土)午後2時~16日(日)午前9時

装いも新たになった「お泊まりキャンプ」です。今年は新企画の「屋台村づくり」に挑戦します。自分たちで食事を作ります。おやじの会ならではの楽しい企画もありそうです。

※詳しくは、土曜日学校「9月のお知らせ」をご覧ください。

学校運営協議会コーナー

「命の教育月間に因んで」

兵庫県在住の高森拓也先生は、本校開校以来、毎年授業に来てくださっているゲストティーチャーです。先生の活動の記録映像とともに、経験されてきたことを、時には声を強くして話をしてくださいませ。運営協議会では、天沼小学校の子どもたちの心に留めておいてほしい「生きるうえで大切なこと」を教えるこの授業に注目し、先生の行っている東北被災地支援活動に参加するなどの協力をしています。「命」の大切さ、「言葉の戦争」のむなしさ、様々なものへの「感謝」等を感じ、子どもたちの心がゆさぶられていることは、次のような感想から感じとっていただけたと思います。

【6年生の感想より】

○この「命」の授業の中で忘れてならない2つのことについて書きます。1つは、食べ物に「感謝」することです。人間は命を殺して生きているということを改めて考えなくてはならないと思いました。もう1つは、友達関係のことです。「死ね・ウザい・キモイ…」世の中にはいろいろと人を傷つける言葉があります。悪い言葉なのに使ってしまう。そんなことをいっさいしたくない、いや、させたくないと思いました。

○同じ空の下、貧しい国では、私たちの思っていた「あたりまえ」は、しあわせなんだと思いました。今まですぐに口にしていた「死ね・消えろ・きもい」そんな言葉。知っている人だから言っていた言葉、なぜ知っている人に言うの？そう思いました。そんなことをしていた自分はひきょうだなと思いました。これからは、自分が生きるためにぎせいにしてくれた生き物にありがとう。そして、君のために命をささげてください、そう思われる人になりたいと思います。

【5年生の感想より】

○私はこの命の授業を受けて、自分たちはたくさんの人に支えられて生きているんだということが分かりました。そして自分かってな感情で人を傷つける言葉を簡単に言うてはいけないということも分かりました。これからは何かあった時に、助け合っていけるようにしたいと思います。

命を大切にするための言葉遣いや心音は、私達大人が見本となっていきたいものですね。

ラジオ体操

夏休みに入った 23日から 28日までの6日間、天気にも恵まれ毎日、校庭で実施しました。授業でもお世話になった山下先生を始め、尚和会の方々3人ずつ手本を示してくださいました。平均120人の参加者で皆勤賞が100人を超えました。早起きと体力向上の一石二鳥の夏休みのスタートでした。



天沼夏季講座

児童の基礎学力の向上を目指し、教員・学校支援本部・卒業生・都立西高の生徒の協力のもと夏季講座を8日間行いました。

児童は、家庭科室で学年毎に用意された問題集を自力で解き、質問や答え合わせのときはセンターコートに出て1対1で指導を受けます。45分間、集中して真剣に取り組み、力を大いに伸ばしてきています。



天沼の夏

「天中図書室」開放

8月3日、天沼中学校図書室にて小学生向けお話し会が開かれました。

これは“AKA24”の一環として開催されたもので、沓掛小学校、天沼小学校の児童が招待されました。

1年生から5年生まで、約10名あまりの児童や保護者が参加。天沼中図書室の案内を受けたあと、中学生と3校学校司書によるお話し会、手作りしおり教室などを楽しみました。



夏季水泳教室

低学年は約90名、中学年は約60名、高学年は約50名、こだまは7名程度の児童が毎回元気に参加していました。特別練習も含め、常時6名以上の教員が指導にあたり、個別の課題に応じた練習ができました。検定も3~4回実施し、星形シールを持ち帰るうれしそうな子どもたちの顔が印象的でした。暑さに負けず一所懸命練習に取り組む子どもたちの姿に、たくましさを感じました。



校内研究 体づくり(心)食(体) NO.3

主任養護教諭 大西 絵美

1学期、体調不良で保健室に来た子は435人、ケガでの来室は838人でした。

具合が悪くて来室した子には、どんな症状なのかを聞くとともに、食事・睡眠・排便・運動など生活の様子を聞くようにしています。生活を振り返ると、睡眠不足や朝食抜き、休日のスポーツの試合など体調不良の原因と思われることに気づく場合があるからです。そして、どう改善していけばいいのか一緒に考えます。

子どもの頃の生活習慣が将来の健康につながる…とは、分かっていてもついつい楽な方に流されてしまうもの。だからこそ、学校では生活リズムづくりやはみがきキャンペーン、給食週間や縄とび・持久走週間などに計画的に取り組ませ、意識を刺激していきます。

子どもの生活の基本は家庭と学校です。子どもたちの健やかな成長と将来の健康のため、よりよい生活習慣が身に付くよう保護者の皆様と共に関わっていきたく思います。

楽しい思い出をつくれた弓ヶ浜

6/25(月)~27(水)

6年2組担任 田中健次

南伊豆町にある弓ヶ浜へ移動教室に行きました。「自然を学ぶ、自然に触れる、自然と遊ぶ」。東京では体験できない多くの活動を「楽しく」行うことができました。めあての1つに「思い出に残る楽しい移動教室にする」ことが掲げられました。そのために、1人1人が何を意識するべきか。それは、「イメージをもって聞く」ということです。

事前オリエンテーションでは、日程や持ち物の話をしてもメモを取るだけの児童が多く、質問は少ない状況でした。案の定、当日、その時になって活動が進むとともに「先生、ここでは、これは必要ですか」と尋ねる児童が、少なくありませんでした。

その夜、「その時の行動をイメージしながら話を聞きなさい。そうすれば補足が必要な部分に気がつきます。そして、質問しなさい。」班長会議の冒頭で話をすると、班長の話を聞く姿勢、表情が変わりました。その後、班長は各部屋へ戻り、「イメージして聞くこと」を伝達事項とともに班員へと伝達し、子どもたちは翌朝から活動でその成長を示すことができました。

それは、1人1人がイメージをもって聞き、行動に移すことができたからです。2学期以降も、様々な学習や行事で目的意識を明確にもって活躍している高学年の姿にご期待ください。



しほ子 芝生プロジェクト

はだしが、きもちいい!

リーダー 神谷由美子

4月、養生明けの初日のこと。緑のじゅうたんのような芝生に真っ先に走っていった子が運動靴をぬぎ芝生の中へ。「気持ちいい~!!」すると他の子どもたちも次々と靴をぬぎだしました。そしてその日以来、いつの間にか「はだして!」がルールになり、体育の授業以外はほとんどの子どもたちがはだして遊ぶようになりました。また、たてわり班のお弁当給食を芝生の上で楽しそうにほおぼる子どもたち。そんな様子を見ていると、なるべく多くの時間を緑の芝生とともに過ごせるようにしたい!という思いが強くなります。

そのためにも、よりよい芝生の育成ができるように、今年度は*ポット苗の補植にも挑戦しています。また、学校・PTA・支援本部・はぴクラの皆さんと協力して、芝刈り&水やりにも昨年度より少し力を入れています。そして今後は、子どもたち1人1人が「ぼくの、わたしの芝生」と思えるようなかわりの場を増やしていきたいと思っています。

※ポット苗の補植…地面の中に広く根をはる夏芝を少しでも定着できるように、夏芝の小さな苗を育て、夏の養生期間の少し前(5月後半~6月初旬)に校庭に補植すること。

